

第2学年 道徳科学習指導案

令和6年10月17日（木）第5校時

- 1 主題名 自分の役割は何か 内容項目【Cよりよい学校生活、集団生活の充実】
- 2 ねらい 自分の役割について、様々な立場から多面的・多角的に考える活動を通して、集団の中での自分の役割や責任について考え、日常生活に生かそうとする実践意欲を育てる。

教材名 「コロナ禍で気付いたこと」

(出典：彩の国の道徳「未来に生きる」埼玉県教育委員会)

3 主題設定の理由

(1) ねらいや指導内容について

本主題は、中学校学習指導要領「特別の教科 道徳」、内容項目C「主として集団や社会との関わりに関すること」の「よりよい学校生活、集団生活の充実」を受けている。

新型コロナウイルス感染症は、瞬く間に世界中に広がった。人々の生活様式は大きく変化し、人と人との接触の削減、飲食店等の休業要請、人々の生きがいや目標までも奪う事態となった。そのような中で、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のために、社会全体の中で、自分の役割を認識し、その責任を果たす様々な立場の人々の考えを話し合うことを通して、生徒がこれから社会の中で生きていく中で、どのような思いを大切にしていきたいかを考えることができるようする。これらのことにより、社会の中で自分の立場や役割を自覚し、日常生活に生かそうとする態度を育てていくことをねらいとする。

(2) これまでの学習状況及び生徒の実態について

(略)

(3) 教材の特質や活用方法について

活用にあたっては、生徒の実態を十分に把握し、傷つく生徒がないかどうか、配慮をもって臨みたい。また、本教材は「問題解決的な学習」を中心に据え、生徒が自分の生活と比べながら、多面的・多角的に考えることができるように工夫することが大切である。社会という集団の中で、一人一人が自分の役割を認識し、その責任を果たすことについて生徒の考えが深まるように、話し合いを進めさせたい。

4 学習指導過程

段階	学習活動・主な発問	予想される生徒の反応	指導上の留意点 ☆評価の視点	時間
導入	1 新型コロナウイルス感染症関連の知識を発表し、関連情報を時系列で整理をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校が休みになった。 ・マスクをして生活をした。 ・ワクチンを打った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症による影響を整理し、人々の生活が変化したことを押さえる。 	5分
展開	<p>社会という集団の中で、どんな思いを大切に生活していきたいか？</p>			40分
<p>2 教材「コロナ禍で気付いたこと」を読み、話し合う。</p> <p>(1) カナコやケンタは、自分の立場でできることについて、どんなことを考えているだろうか。</p> <p>(補助発問) カナコが父の仕事に係る憂いに対して、家庭内でできることは何だろうか。</p> <p>(補助発問) ケンタが、クラブチームとの関わりの中でできることは何だろうか。</p> <p>(2) カナコやケンタの考えを通して、あなたはどうか考えるか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・休業するまでの間、お店のことで何か手伝えることをやる。 ・コロナ関連以外の話題を父と話して盛り上がる。 ・お店が再開するときに向けて、クラスターの発生を防止できる手段を考える。 ・休業中は、可能なものは我慢をして、家計の出費を抑える。 ・ダイスケ先輩の思いを受けて練習にしっかり取り組む。 ・体と体がぶつからない練習を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・導入を踏まえ、生徒の問題意識を大切にしながら、本時で考えたいことを確認する。 ・家族やクラブチームの一員として、自分の役割について模索する気持ちに共感させるとともに、どのような責任を果たせるかについて考えさせる。 ・ポートフォリオの「最初の考え」に記述する。 ・小グループで友達の意見を参考にしながら話し合う。 		

<p>展開</p>	<p>(補助発問)</p> <p>当時、自分が社会や家庭で果たした役割を振り返ってみよう。</p> <p>(3) 日々の生活で大切にしていきたい思いは何か。</p> <p>3 本時の学びを通して振り返る。</p>	<p>ないかもしれない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ どうして二人は、自分に何ができるか考えようとしたのだろう。 ・ 帰宅後にうがいや手洗いをしっかりと行なった。 ・ 外出時には必ずマスクを着用した。 ・ 不急で不必要な外出は我慢して、ひかえるようにした。 ・ これから社会で生きていくには、自分のことだけではなく、周りの人のことを意識していきたい。 ・ 集団や社会のために、自分にできることを考えてみたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 役割や責任を果たして日常生活や社会生活に生かそうとする二人の姿を多面的・多角的に考えさせる。 ・ 話し合った内容をポートフォリオの「印象に残った友だちの考え」に記述する。 ・ 意見を整理し、ホワイトボードに記入して発表し、多様な考えに触れられるようにする。 <p>☆社会の一員として、自分の役割を認識し、その責任を果たすこととは何かについて、様々な視点から捉え考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ポートフォリオの「授業後の自分の考え」に記述する。 ・ 社会という集団でよりよく生活するにあたり、どのような思いや考え方が必要なのか、自分事として考えられるようにする。 <p>☆自身を振り返り、自分なりに集団に貢献する気持ちを深めている。</p>	
<p>終末</p>	<p>4 教師の説話を聞く。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分が置かれた立場の中で、集団に貢献する気持ちを醸成する。 	<p>5分</p>

5 他の教育活動との関連

事前指導	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の実態を把握するため、「新型コロナウイルス関連の小学校時代の一番の記憶」をミライシードのオクリンクへの投稿を実施。 本時の道徳的価値に関わる学校行事との関連。
道徳科	<ul style="list-style-type: none"> 教材名「コロナ禍で気付いたこと」 集団の中での自分の役割や責任について考え、日常生活に生かそうとする実践意欲を育てる。
事後指導	<ul style="list-style-type: none"> 教材のP 4と5の関連資料を読み、感想をミライシードのオクリンクに投稿してもらう。
家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> インフルエンザ等のワクチンを接種する時期に、家庭でもウィルスによる感染症について話題にしてもらう。 本時の授業の様子を紹介し、これから社会で生きていく中で、大切にしたい思いについて話題にしてもらう。

6 評価の視点

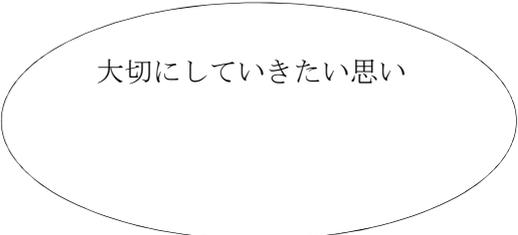
【物事を多面的・多角的に考えている様子】

- 社会の一員として、自分の役割を認識し、その責任を果たすこととは何かについて、様々な視点から捉え考えている。

【道徳的諸価値についての理解を自分との関わりで深めている様子】

- 集団に貢献する意義について自分との関わりで考えている。

7 板書計画

教材名	コロナ禍で気付いたこと	COVID-19 新型コロナウイルス感染症					
	社会の一員	4<小四>	4<小五>	4<小六>	4<中一>	4<中二>	
		2019	2020	2021	2022	2023	2024
カナコができること		12	3<休校>6				
		4<緊急事態宣言・まん延防止等重点措置> 3			5<5類感染症>		
ケンタができること		あなたはどうか考えるか					
		<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
		<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>